



## 国際セミナー回顧号

第 2 号

兵庫県精神障害者家族連合会

発行人 南野 三郎

編集人 前川 博

〒652神戸市兵庫区湊川町3-13-20

事務局 湊川病院内

☎ 078-521-1367



## 国際セミナーを終えて

会長 南野三郎

去る9月27日、神戸市自慢の人工島ポートアイにある、国際会議場で開催された『精神障害者リハビリテーション国際セミナー』が大盛会裡に無事終えたことを、家族の皆様と共に喜び申し上げます。

思いおこせば、今年の6月頃に全家連の滝沢事務局長より、『国際セミナー』を東京と神戸の二ヶ所で開催したいとの打診があったときは、実際どうしようかと考えあぐんだが、役員の皆さんに相談すると、全員がやろうということで一決、それからの7・8・9月と準備のための会議(実行委員会)や会場準備で暑熱の中の大奮闘となりました。

外国から来られる方達の受け入れについては、全家連が責任を持って行なってくれましたが26日に大阪空港へ着かれてから、28日東京へ移動されるまでの宿舎、食事等は全て当方で面倒を見ることになりました。

当初はアメリカより、ロザリン、カーター元大統領夫人の来神が予定されていたが都合にて東京会場のみとなり、結局はイギリス、中国、カナダ、アメリカ、日本の5ヶ国的精神科医と精神障害回復者の10名と、特別参加されたニュージーランドの医師が来られました。

この『国際セミナー』を成功させるための当県連の活躍ぶりは、手前味噌になりますが見事なものでした。同時通訳のできる会場の確保、安くて良い宿舎、講師の先生依頼、兵庫県、神戸市に協力のお願いと公式訪問の打合せ、会場の設備(同時通訳)が600名が限度という難しい条件の中で県内外より、約700名の参加者があり会場は満員の状況でございました。

ところでセミナーの方は、カナダ、バンクーバー市精神衛生局長のジョン・ラッセルさんの特別講演があり、次に各国の回復者の体験発表とこの発表についてのコメントを先生達が述べられましたが、私は中国の回復者の話しの中で民主主義の尊さをしみじみと感じました。

参加された医療、福祉関係者並びに私達家族にとって深い感銘をうけるとともに、このセミナーによって得たものは大きかったと思います。

最後に、今回のセミナー開催にご尽力下さった関係者の方々に、厚くお礼を申し上げる次第でございます。今後はこのセミナーの成功を一つのステップとして、兵家連がさらに飛躍発展していくことを心から期待したいと思います。

(2)

月05月11日 08:00 PM

会合 訪問

理南

前

兵庫県庁

訪問

日19日

され、北川が連絡

名もの家族が集ま

が参り、北川が



山口赳一氏のと

理南

維新で有名な文

が多く、また山口

吉野川が

喜びと共に、北川

西村休憩のあと

門田さ東京を

の昌は第

各国回復者の

体験発表



大盛会の国際

会議場風景

多田まで

078-521-1367

## 国際セミナーに参加して

### \* 感想



神家連 西浦三郎

去る9月27日、神戸国際会議場で兵家連主催の『精神障害者リハビリテーション国際セミナー』が開催され、大盛会裡に無事終了したことは、大変嬉しい出来事でした。

私も、このセミナーでは通訳兼司会者としての大役を仰せつかり、微力でしたが少しでも、お世話の一端を担い得たことについて、心から喜んでおります。

今回のセミナー開催に当っては、役目の関係から外国から来られた方々と、親しく接する機会に恵まれ、また、セミナーの前日から翌日にいたるまで、この方達と一緒にさせてもらい、私自身にとっても大変得るところがありました。

また、体験発表については、カナダのマリオン、グリーフさん、中国のチェン、チャオさん、米国のヒルダ、ロビンスさん、英国のグラハム、ケネディさん、それに日本の中島さんを含む5人の方々の発表を、司会させて貰いましたが、カナダのマリオン、グリーフさんが、身内からも嫌やな顔をされたと発表途中で涙ぐまれたことや、中国のチェン、チャオさんのように、文化革命の嵐の中で発病を余儀なくされた経緯など、お国の事情をも反映した印象的なものでした。

なを、このセミナーの大成果を踏まえて、われわれの活動が益々充実していくことを、心から願っております。



### \* 所感



川西市むぎのめ家族会 木村峰子

精神障害者リハビリテーション国際セミナーに参加させて頂きました。

このセミナーの中で、特に外国の回復者による体験発表を聞き、何処の国でも、常日頃私達が悩んでいる社会の偏見の目は、日本と比べて強くはないにしても、やはり心せまく生きて来られたことを感じました。

米国のヒルダ、ロビンスさんは、自分自身が病気と闘ってきた経験を、世の精神障害者の為に出来る限りのアドバイスして、尽くしながら生きて行きたいと話され、この情熱とアイトには深い感銘をうけました。

この素晴らしい貴重な体験発表を私の息子に聞かせたかったと思いました。

息子も一応病気が安定していて働いて居りますが、やはり薬は飲み続けなければならぬようです。此の何んずっと落ちついてくれればと祈って居ります。

国際セミナーに参加して、痛切に感じたことは、このように回復者が参加しての会合が数多く開催されることと、病気を少しでも良い方向に持っていくには①住む環境が良い事②ドクターとの信頼関係③家族との信頼関係によって出来ると確信して、大変希望がもてるようになりました。

最後に、このセミナー開催にご尽力なされた多くの方々に感謝をし、このセミナーが、今後の家族会活動の一歩となるよう祈念いたします。私も精神障害者が一日も早く住み良い社会に成ることを念願して、家族会活動と作業所作りに協力していきたいと思います

## = 国際セミナーに参加して =



捐水会 前川亮一

去る9月27日、神戸国際会議場で精神障害者リハビリテーション国際セミナーが開催され、私も参加いたしました。

兵家連南野会長の挨拶のあと、各来賓の方の祝辞で開会式のセレモニーが終わり、次にカナダのジョン・ラッセル先生の特別講演が始まる、英語と日本語が同時に容赦なく私の耳に飛び込んでくる、目を閉じて精神集中を計り、ようやくイヤホンになれた頃に講演が終わってしまった、先生は精神障害者の自立と社会復帰を熱心に説かれ、その為にいかにすればよいかをカナダに於ける実例をあげてお話しになったと私は理解しました。

次に、5ヶ国の方々が障害の壁をのりこえ回復されたことを自身の体験を踏まえて発表され、よくここまで回復されたと感心すると共に周囲（家族、医療側）の介護も大変だったことを痛切に感じました。

私は、同じ悩みを持つ家族の集まりである家族会というものをよく知らなかったが、家族会に入れて頂き、又入会して日の浅い私が役員の大役を勤めさせて頂いて居ります。

会長以下役員の皆さん方の献身的な努力と病院側の全面的な協力には、全く頭の下がる思いがいたします。

この度、この国際セミナーに参加して、精神障害者をもつ家族の輪が、地域（病院）から市、県、国は云うに及ばず世界に広がっていることを知り大変心強く思った次第です。

最後に、今回の国際セミナーを一つの踏台として、不幸な障害を持った人々が、一日も早く陽のあたる場所で、幸せに暮らせるよう私は努力したいと思います。そしてこれからもこのような会合には出来るだけ参加して、共通の悩みを持つ家族の方々と話し合って見たいと思います。



川西市むぎのめ家族会 芳沢 修

昭和62年6月にむぎのめ家族会は、兵家連に加入させていただき、他の地域家族会への勉強会、ソーシャルワーカーの全国大会、家族会指導者の研修会、その他助成金の申込み、市、県への陳情等と、兵家連の御協力を賜り有難うございました。

今回、兵家連主催の国際セミナーに参加させて頂き、会長以下関係者の皆様方には大変お世話になり深く感謝を申し上げます。

## ◎セミナーに参加して次の様に感じました。

1. カナダのジョン・ラッセル先生の講演について何処の国でも悩めることが多く、これからのが強固なる団結と、国への要請により、早期に福祉法の制定を願うものであります。
2. 回復者による体験発表について。各国より選ばれた人達で上手にまとめられているが、もっとリアルな声や困った事の体験を話して欲しかった。
3. 先生方のコメントについて。各国ともに共通なる点もあるが、他国のディスカッション等についての感想意見も述べて欲しいと思いました。

## ◎その他の意見。

1. 兵家連の回復者又は、回復途上にある人の体験発表会の企画。
2. 先生又は、ソーシャルワーカーの皆様によるコメント、ディスカッション指導の場をつくる。
3. 今回の会合は、家族会の関係者が多かったが、訓練生の参加をもっと多くする様に考える、それと質疑応答の時間の設定をお願いしたい。

## =国際セミナーに参加して=



宝塚家族会 杉村章子

『精神障害者リハビリテーション国際セミナー会場』と、神戸国際会議場の入り口に掲げられた筆太の文字が頗もしく見えました。

何しろ、藁にもすがりたい気持で、家族会に通っている私にとって、心ときめく催しました。しかし、外国語の講演を同時通訳で聞くことも初めてであり、大いに期待して参加させて頂きました。

ジョン・ラッセル先生より『患者の人権を守り地域社会の中で機能出来るようにしてあげる、どんな治療を受けるのか患者の求めている目標に対して、ニーズに応えていく』、ための温かい提言を、具体的にわかり易く話して頂きました。

世界五ヶ国の、回復者による体験発表には何度も胸をつまらせながら聞き入りました。『希望を失ってはならない』との助言は心に残る言葉でござました。

最後の、先生方の励ましの言葉に『病気を否認せず、あせらず、社会の中で生き、自分の個性を發揮すべく、強い活動力を發揮されること、その道は決してたんとしたものではない』を家族の心とし、ともすれば落ち込みそうな日常を、家族会を通じて、新鮮な刺激を受けながら、希望を捨てないで生きていきたいと思います。

宝塚家族会から、11名参加しましたが、参加出来なかつた会員も、次の機会には是非参加して欲しいと思います。

会の主催運営に当られた皆様をはじめ、会を支えて下さった多くの方々に、厚くお礼を申し上げます。有難うございました。



湊川病院家族会 山本春義

『精神障害者リハビリテーション国際セミナー』が、盛会裡に無事終了したことは、この会の運営に携わった一人として大変嬉しいことでございました。

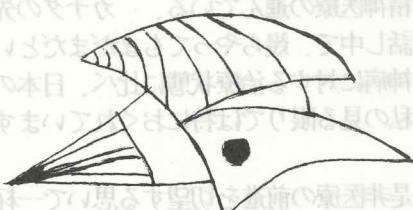
思えば、7月下旬の兵家連理事会で、運営委員会が発足して、直ちに準備活動が始まる委員会の協議も数度に及びこの間、事務局担当(多田さん)のたゆまぬ情報収集並びに、関係機関への根回しを精力的に進められて、行政機関と各病院等の協力を得ることが出来ました。

女史には準備段階から、終了時まで積極的なご指導と、ご協力を頂きましたが、自らの勤務と両方のことで大変ご苦労だったことと思います。

今回の様に、大きなイベントの準備期間中にはいろいろな作業があります。開催案内の作成、整理、発送、参加申込者への措置と、開催日前後の講演者並びに来賓者の対応等、目立たぬ重要な作業を経験いたしました。

参加者からのアンケートによる感想、意見が数多く寄せられています、後日事務局から皆様方に披露されると思います。

最後に、今回の国際セミナー開催にご尽力下さった皆様方に、心から感謝を申し上げ、このセミナーによって兵家連が飛躍発展していくことを祈念いたしております。



## ☆☆ 寄せられたアンケート 95通 ☆☆

ご協力有難うございました。

数多くの中から次の方のアンケートを紹介させて頂きます。



回復者 女性 40才

大変よい勉強になりました。  
ほんとに有難うございました。  
これからも回復者の集いを絶対ひらくべき  
だと思いました。  
同じ病をもつ者同志が助け合っていくのが  
一番よい事だと思うからです。  
医師も周囲の協力も是非必要ですが回復者  
の、より大きい働きと、助け合いを期待する  
と同時にそうあるべきだと、私は日夜思って  
やみません。

家族 女性 58才

遠い九州の果てから、参加をいたしました  
患者の家族です。

まさか我が子が、精神病について別世界のことのようにしか、考えて居なかつた私共は無知識のため、初期の症状で気づかなかつたのを残念に思っています。

今は、我が子だけでなく多くの患者と家族のために、行政も医療も本腰を入れて、治療ケアが出来るような、活動の輪を広げていくお役に少しでも立ちたいと思っています。

ただ、家族として出来ることは小さいものです。 医療機関や行政の指導での姿勢が大きく問われているように思います。

精神医療の進んでいる、カナダの先生のお話し中で、幾らやってもまだまだという、精神病に対する治療状態に比べ、日本の状態は私の見る限りでは特におくれています。

是非医療の前進を切望する思いで一杯です。



保健所 男性 56才

行政のメンバーとしてではなく、一個人として出席しましたが、このような熱意と迫力のあるすばらしいセミナーは初めてです。

とりわけ5ヶ国の回復者達の、苦痛と努力に満ちた体験発表には感動し、最大の拍手を送りました。 今後も是非このようない催しを続けて欲しいと思います。

我が国では、本年7月に精神衛生法が改正され（行政、医療、福祉）が現実に、新しい対応が迫られています。 このような中で、地域での受け皿作りはどうするのか、地域医療の在り方はどうか、 各国のことをもっと聞きたかったと思いましたが、今回のセミナーは、医療や社会復帰について、示唆されるものがかなりあったのではないかと思いました。

私の職場でも、精神保健の取り組みについては、暗中模索でまだまだこれからですが、回復者の家庭訪問や、月に数回のリハビリをやっていますが課題は多すぎます。

今日の中からヒントを得て、今後の参考にさせて頂きます。 有難うございました。



# 兵庫県貝原知事に陳情

兵家連では、去る11月4日に、社会復帰に対する授産施設の設置、共同作業所の充実、福祉法の制定等、5項目にわたる陳情書を兵庫県貝原知事に提出しました。

なを、当日知事不在のため早崎地域保健課長に、約30分にわたって諸制度の早期実施を陳情しました。

又、兵家連傘下の神家連でも、11月16日、授産施設の設置と共同作業所の充実について、野村神戸市議会議長に陳情書を提出しました。



## さぎ草家族会誕生記

姫路市 会長 河野志郎

さぎ草家族会の生い立ちを披露いたします。私の娘は、発病して二十余年になりますが当時この病気については無知識で、医師の指示通りにして居れば、治るものと思っていたが、結局入退院の繰り返でした。

51年、東京に住んで居た時、(家族会)さくら会を知り、入会していくいろいろと勉強の機会を得ました。6ヶ月後姫路に帰ることになり、その時姫路にも家族会を作ろうと考えたが、作り方がわからず暗中模索の内に日が過ぎてしまう、全家連誌『せんかれん』で、家族会の作り方を、シリーズで連載したのを読んだことで、これを参考にして家族会の設立に踏切りました。まづ保健所を訪ねて、協力をお願いしましたが、姫路市はデイケアの制度も相談員の配置もなく(現在もなし)協力はするが家族の紹介は、プライバシーの関係上出来ないという、私は途方にくれていっそのこと家族会作りをやめようかと思ったが、折角決心したのだからもう一度頑張ろうと思い直し、市の関係先を訪ねたが、答えは同じで進展せずただ福祉課でこの問題に理解のある、精神科医の森下先生を紹介して下さった。藁をも掴む思いで先生の許を訪ねる。

先生は『この仕事は大変だぞ、出来るかなあ』と云われ、次のようにしなさいとアドバイスを受ける。

始めに、姫路にある病院、診療所に協力をお願いする。次に、川西市の石島診療所を

訪ねて『むぎのめ家族会』の設立について学んで来なさい。早速川西市へ飛んで行く、こここの家族会は、診療所の患者中心のもので貴方の場合に適合しないのではないかと先生は言われて、神戸市の北家族会の大槻会長を紹介して頂く、早速神戸に電話すると、この家族会は保健所のデイケアに参加する人の、家族が作った会であるからと、西宮市のたんぽぽ会の吉岡会長を紹介して下さる。吉岡会長の話して、私と同じ条件で家族会を設立なさったことがわかり、やっと暗夜に光を得た気持ちになり、設立に自信を持つことが出来ました。

(吉岡会長のアドバイス)

1. 協力してくれる精神科の医師を探す。
2. その医師の医療講演会を開く。
3. 各新聞社に講演会の記事を掲載依頼する。
4. 講演会に集まった人の中から、設立準備委員をつくる。
5. 二回目の講演会を2・3ヶ月後に開催し  
そのあと創立総会につなぐこと。  
以上の要旨で特に(1)項が出来るかどうかが、設立の成否を決めると云われました。

その後は、吉岡会長のシナリオ通りに進めることが出来、61年5月、42名の会員で創立することが出来ました。

設立まで、幾多の方々の有形無形のご助言又は、ご協力によって設立出来たことに深く感謝を申し上げます。

最後に、この誕生記が今後の家族会設立に少しでも、参考になれば幸いです。

# 山口大会に参加して



兵家連理事 佐藤勝美

第21回全国家族大会が、去る11月18日19日の二日間にわたって、山口市で開催され、北は北海道、南は沖縄まで約1500名もの家族が集まり、兵家連から10名の方が参加しました。

山口市は西の京ともいわれ、附近には幕末維新で有名な史跡や、自然の景観に富んだ所が多く、また山々は紅葉化して、一段と目にしみ込み、我々を怡かも歓迎の感を深くしました。早速旅装をホテルカム福にて解く、暫時休憩のあと、同ホテル内に設定された四つの分科会にそれぞれ出席しました。

私は第二分科会に出席する、会のテーマは『精神保健法に基づく社会復帰施設をどう作っていくか』170名の参加者があり、谷口専務理事の話しによれば、7月迄の厚生省に書類申請のものは、援護寮20、福祉ホーム14、授産施設19、計53件で、この詳細報告は後日にゆります。

夕食は大広間で、400名が膳を共にする壮観なるも、人老令の感を深くしました。

二日目朝、バスで山口市民会館大ホールに移動する。10時谷口専務理事の、開会の挨拶で大会が開かれる。次に滝沢事務局長の司会で公開座談会が始まる。―――――↑

『経過の長い精神障害者の治療と支援活動について』のテーマで、4名の講師がそれぞれの立場より話されて、そのあと参加者との質疑応答の場がもたれました。

昼食時、アトラクションとして舞踊、大内太鼓、戦国時代に生き抜いた女性のたくましさを、勇壮なバチさばきの轟きに目をみはる。

13時より、大会式典が始まる、藤本厚生大臣を始め各関係者の祝辞があり、次に全国で37名の方が、家族会育成の功労者として表彰されました。

続いて【劇作家】田中澄江女史(80才)の『遠く長い道：つながりを求めて：』での話しの中で、二人の障害者を持つ母親としての心情を赤裸らに披露され、多方面への講演の暇をみつけて、子供と一緒に山登りをして身体を鍛錬している由、その他私達にとっては、ほんとに有意義な内容の講演でした。

最後に、福祉法の早期実現、差別条項の即時撤廃、その他三項目を挙げての大会宣言があり、全員一致で活動展開を採択する。

【次期大会の開催県は山梨に決定】

会場をあとにする。

## 心の相談室ご案内

- ☆ 診療相談 ☆ 生活相談 ☆ 心理相談
- ☆ どなたでも相談できます。
- ☆ 相談は無料です。

【秘密は厳守します】

(連絡先)

〒652神戸市兵庫区湊川町3丁目13-20  
湊川病院内 兵家連事務局 多田まで  
☎078-521-1367

## 編集子より

国際セミナー参加者のアンケートは一部だけを掲載しましたが、後日小冊子にして、皆様方にお届けする予定にして居ります。

### 投稿のお願い

短歌、俳句、感想、意見等どんな内容のものでも、又匿名でもかまいません。ご投稿、お待ちして居ります。

